



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2017. 9.25 No.2250 No.9



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

野崎 正明

Masaaki Nozaki

**みつめよう
豊かな心で**

皆さん こんにちは。

秋の彼岸に入り、気温も大分涼しくなりましたが、引き続き天候不順には十分注意していただきたいと思います。

本日はロータリーの重点分野のひとつであります「基本的教育と識字率向上」月間です。卓話に三条市教育委員会・課長 高橋誠一郎様にお越しいただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、国際ロータリーとロータリー財団は2011年に奉仕活動の見直しを行い、最も大きな成果を収める持続可能な6つの重点分野を設定いたしました。現在、ロータリー財団のグローバル補助金の申請もこの分野に限定されております。また当クラブでも事務局の配慮によって、いち早く例会事業に反映、既に数年が経過しているところであります。

ロータリーは100年以上に渡り、世界中の地域社会に奉仕活動を行っておりますが、この6分野がなぜ重点分野となり、そして優先活動となったのかを調べてみました。

まず、来年2月が月間の「平和と紛争予防/紛争解決」の分野であります。現在も尚、毎年約20,000人の人々が紛争の地雷により手足をなくし、命を奪われています。紛争で命を落とした90%が一般市民で、そのうち約半数が子供となっています。そして、世界で約30万人の少年兵が巻き込まれていると言われております。

二つ目は、この12月に月間となる「疾病予防と治療」です。現在、毎年約10億人がテング熱やハンセン病で苦しんでいます。57の国では、保健従事者が人口1万人当たり平均23人しかおりません。また全世界で、更に240万人の医師 看護師 助産師 熟練看護者が必要とされています。そして、世界人口6人に1人が医療費を払うことが出来ず、その負担によって毎年約1億人が貧困生活に追い込まれています。

三つ目は、来年3月が月間の「水と衛生設備」の分野であります。現在、適切な衛生設備が利用出来ない人が世界で約25億人存在し、衛生的な飲料水を利用出来ない人が約7億8,000万人に至っています。また、毎日こうした水の欠如が原因で約3,000人の子供が、下痢性疾患で亡くなっています。

四つ目は、来年4月に月間となる「母子の健康」分野です。まず子供の健康実態を見ますと、栄養失調 医療の不備 適切な衛生欠如が原因で、5歳未満の子供が毎年約700万人亡くなっています。母親の妊娠と出産ではサハラ以南のアフリカで39人に1人の女性が合併症で亡

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

国際ロータリー会長	イアンH.S.ライズ [オーストラリア]
第2560地区ガバナー	新保清久 [新潟万代]
第4分区ガバナー補佐	鈴木武 [三条南]
会長	野崎正明
幹事	熊倉高志
S A A	吉沢栄一

事務局

〒955-8666 三条市旭町2-5-10

三条信用金庫本店 内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

U R L http://www.sanjo-minami.jp

Rotary



くなっています。また、女性約2億5,000万人が安全な避妊法を利用出来ないと言われていました。

五つ目は今月が月間の「基本的教育と識字率向上」の分野です。

現在、全世界で初等教育小学校レベルを受けられるようにするには、約70万人の教師が必要とされ、約6,700万人の子供が学校に通っていません。そして、16歳以上の人口のうち約7億7500万人が読み書き出来ないとされています。

そして最後六つ目は、来月が月間となります「経済と地域社会の発展」という分野です。現在、約1億9000万人の人々がマイクロクレジット（小口融資）を利用し、約14億人の人が1日1ドル25セント、日本円で約140円以下の生活費で暮らしていると言われています。

こうした世界での過酷で非常に厳しい現状を知ること、日本人として生を受けたことに感謝しつつ、ロータリークラブの必要性も改めて認識した次第であります。

本日の挨拶は以上とさせていただきます。

出席率

会員48名中33名

先々週の出席率

89.36%(9/2)

ゲスト

三条市教育委員会小中一貫教育推進課 課長 高橋誠一郎様

先週のメークアップ

9/13 三条RCへ 荒澤威彦君 池田亜津子さん 内藤豊大君

9/14 三条東RCへ 栗山佳大君 永井篤利君 坂本洋司君

9/14 50周年実行委員会へ

船久保孝志君 長谷川直哉君 木村 譲君 熊倉高志君 草野恒輔君

西潟精一君 野崎正明君 坂本洋司君

9/20 三条RCへ

荒澤威彦君 長谷美津明君 栗山佳大君 内藤豊大君 西巻克郎君

渡辺俊明君

9/21 三条東RCへ

永井篤利君 太田義人君 渡辺俊明君

幹事報告

熊倉 高志 幹事

三条北ロータリークラブより 「青少年育成講演会」のご案内（チラシ配布済み）

【開催日時】 2017年11月8日（水）18：30～19：40 18：00開場

【会場】 ジオ・ワールドVIP

【講演】 「子どもたちを守るために大人に伝えたいこと — 子育てと教育は愛とロマン — 」

講師：教育評論家 尾木ママ 尾木直樹氏

※入場無料・・・ただし、入場整理券が必要です

ニコニコボックス

野崎君 三条市教育委員会 課長 高橋誠一郎様
本日の卓話よろしくお願ひいたします。

熊倉君 高橋課長様、本日はよろしくお願ひいたします。

馬場君 三条市教育委員会小中一貫教育推進課
課長 高橋誠一郎先生をご歓迎申し上げます。

田代君 高橋誠一郎様、本日の卓話有難うございます。

鈴木(囿)君 卓話の高橋誠一郎様、ご苦労様です。

丸山(征)君 在メキシコの息子家族は無事でした。
皆様、神様のお陰です。感謝です。

佐々木君 昨日は湯田上C.Cにて南RCの親睦ゴルフコンペを開催させていただきました。
一緒にまわった永桶さんが優勝されました。おめでとうございました。

内藤君 久しぶりの例会出席です。

永桶君 昨日の南RCゴルフ大会にて優勝させていただきました。ゴルフ場の手違いで12ホール(ダブルペリア)の予定が6ホール(ペリア)で計算されたための間違い優勝です。
参加された方には申し訳ありません。

船久保君 永桶さん、南RCゴルフコンペ
優勝、おめでとうございます！

草野君、銅冶君

BOXに協力いたします。



9月25日 ￥14,000

今年度累計 ￥129,000

Niko
Niko
Box!



卓話

「基本的教育と

識字率向上月間」

「三条市の小中学校教育

小中一貫教育の制度移行(併設型小中学校・義務教育学校)
学校運営協議会の設置(コミュニティ・スクール)」

三条市教育委員会
小中一貫教育推進課
課長 高橋 誠一郎 様

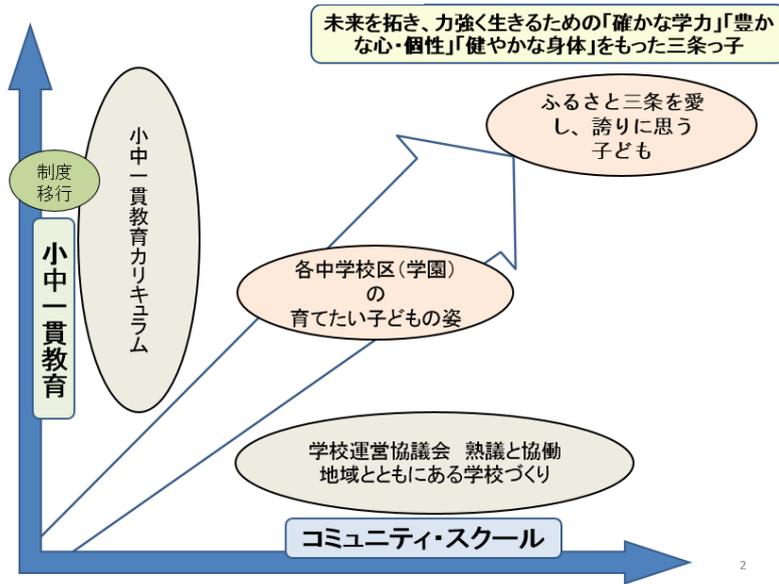
貴重なお時間をいただき、今後三条市が進めてまいります小中一貫教育の制度移行と学校運営協議会の設置についての内容とスケジュールについて、情報共有をさせていただければと考えております。よろしくお願いいたします。

三条市の学校教育目標は「未来を拓き、力強く生きるための「確かな学力」「豊かな心・個性」「健やかな身体」をもった三条っ子」を育成することであり、目指す子ども像として「ふるさと三条を愛し誇りに思う子ども」を掲げています。

その実現のための仕組みとして、小中一貫教育を平成 25 年度より全面実施してまいりました。各中学校区の教職員の皆様の取組のおかげで、着実に



1 三条市の教育のイメージ図



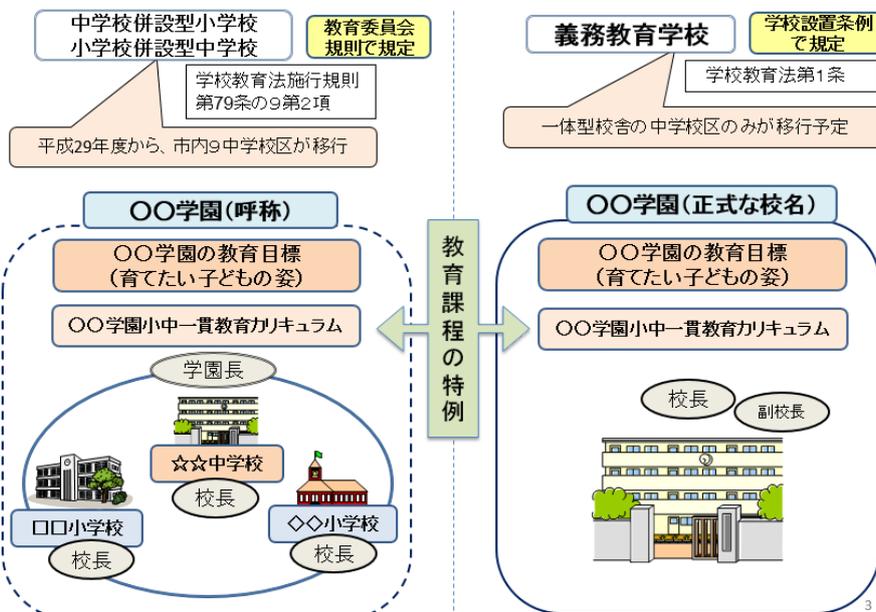
成果が上がってきております。今後も小中一貫教育を学校教育の中核として推進していきたいと考えております。

昨年、小中一貫教育に関わる法改正がありました。三条市にとっては、制度上の環境整備を行い、小中一貫教育を更に充実させる絶好の機会であると捉えております。

また、小中一貫教育を地域で支え、各学校や地域の課題を協議する「地域と共にある学校づくり」に向けた仕組みとして、学校運営協議会の設置、いわゆるコミュニティ・スクールを指定していきたいと考えております。

小中一貫教育とコミュニティ・スクールによる地域との連携・協働がうまく絡み合い、効果的に機能することによって、子どもたちの成長が図られ、学校も地域も元気になるということを目指しております。

2-1 小中一貫教育の制度移行について



制度移行の内容について、すでにご存じのことも多いと思いますが、確認の意味も含めまして、説明をさせていただきます。学校教育法及び施行規則の改正で「義務教育学校」とそれに準ずる「中学校併設型小学校・小学校併設型中学校」が小中一貫教育を行う学校として規定されました。三条市におきましては、平成 29 年度よりすべての学校を、併設型小・中学校へと移行します。その後、一体型校舎の中学校区については、義務教育学校へと移行いたします。移行時期は、大崎中学校区については平成 30 年度としておりますが、第一中学校区、第二中学校区については現時点では未定です。

併設型小・中学校は、小中一貫教育校として、〇〇学園という呼称をつけ、

校長先生方の中から教育委員会が任命した学園長が、小中一貫教育に関わる事務の総合調整を行い、9年間の一貫した教育を行います。

義務教育学校は、一人の校長の下、9年間の一貫した教育を行います。

義務教育学校と併設型小・中学校のどちらも、教育課程の特例が認められています。小中一貫教育を行うに当たって、児童生徒の実態から効果的であると考えられる場合は、小学校、中学校学習指導要領の範囲を越え、指導内容の前倒しや入れ替え等を行うことができます。教職員の思いや工夫で、柔軟な小中一貫教育カリキュラムを編成することができる環境が整うと考えております。

2-2 制度化された小中一貫教育の類型について

	義務教育学校	中学校併設型小学校、小学校併設型中学校
校名	〇〇学園 (学校設置条例で義務教育学校であることを明らかにした上で、具体的な校名は、義務教育学校以外の名称を用いることができる。)	〇〇小学校、〇〇中学校 (校名の変更なし、中学校区に呼称として〇〇学園を設定)
修業年限	・9年 (ただし、転校の円滑化等のため、前期6年と後期3年の課程の区分は確保する。)	・小学校 6年 ・中学校 3年
教育課程	・9年間の教育目標の設定、9年間の系統性のある教育課程の編成 ・小学校・中学校の学習指導要領を準用した上で、一貫教育の実施に必要な教育課程の特例を創設	
組織	・1人の校長 ・一つの教職員組織 ・教員は原則小・中免許を併有 (当面の期間は小中どちらかの免許を所有で勤務可能)	・学校毎に校長 ・学校毎に教職員組織 ・教員は各学校種に対応した免許を保有
施設	・一体型校舎	・分離した校舎

※法令上は施設の一体・分離を問わず設置可能

2-3 三条市の小中一貫教育校(9学園:一体型校舎2)

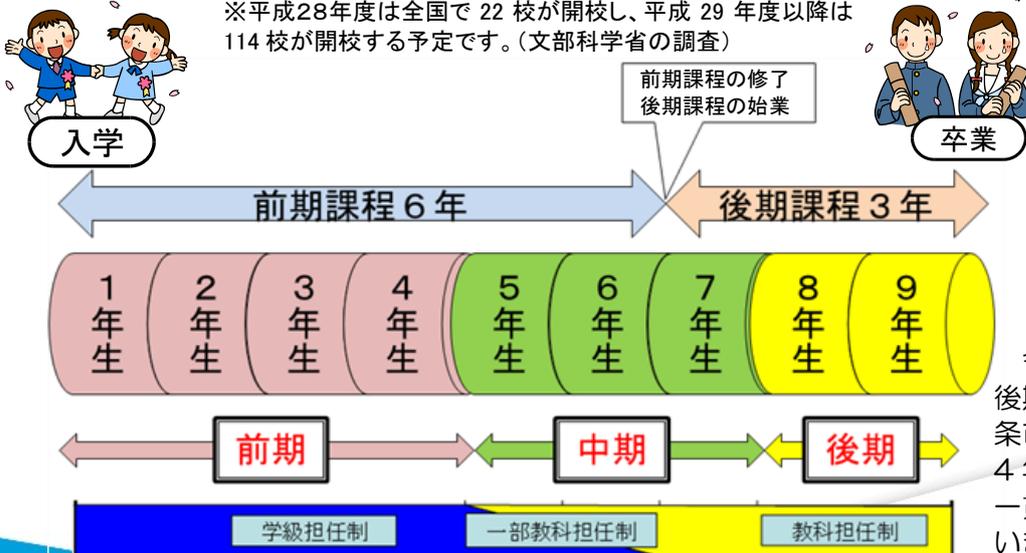


今年度より同じ目標に向かって小中一貫教育を行っているという一体感をもたせるため、各中学校区の各校を小中一貫教育校(中学校区、学園)とし、学園呼称をつけました。市内には9つの学園があり、青色が一体型の小中一貫教育校、黄色が校舎が分離している小中一貫教育校です。

一体校でも校舎が離れていても、学園としてみれば、児童生徒、教職員、保護者、地域の方々も同じ仲間です。

3-1 義務教育学校について

※平成28年度は全国で22校が開校し、平成29年度以降は114校が開校する予定です。(文部科学省の調査)



令では9年の課程を前期6年、後期3年に区分していますが、三条市では指導上の区分として前期4年、中期3年、後期2年の小中一貫教育カリキュラムを編成しています。

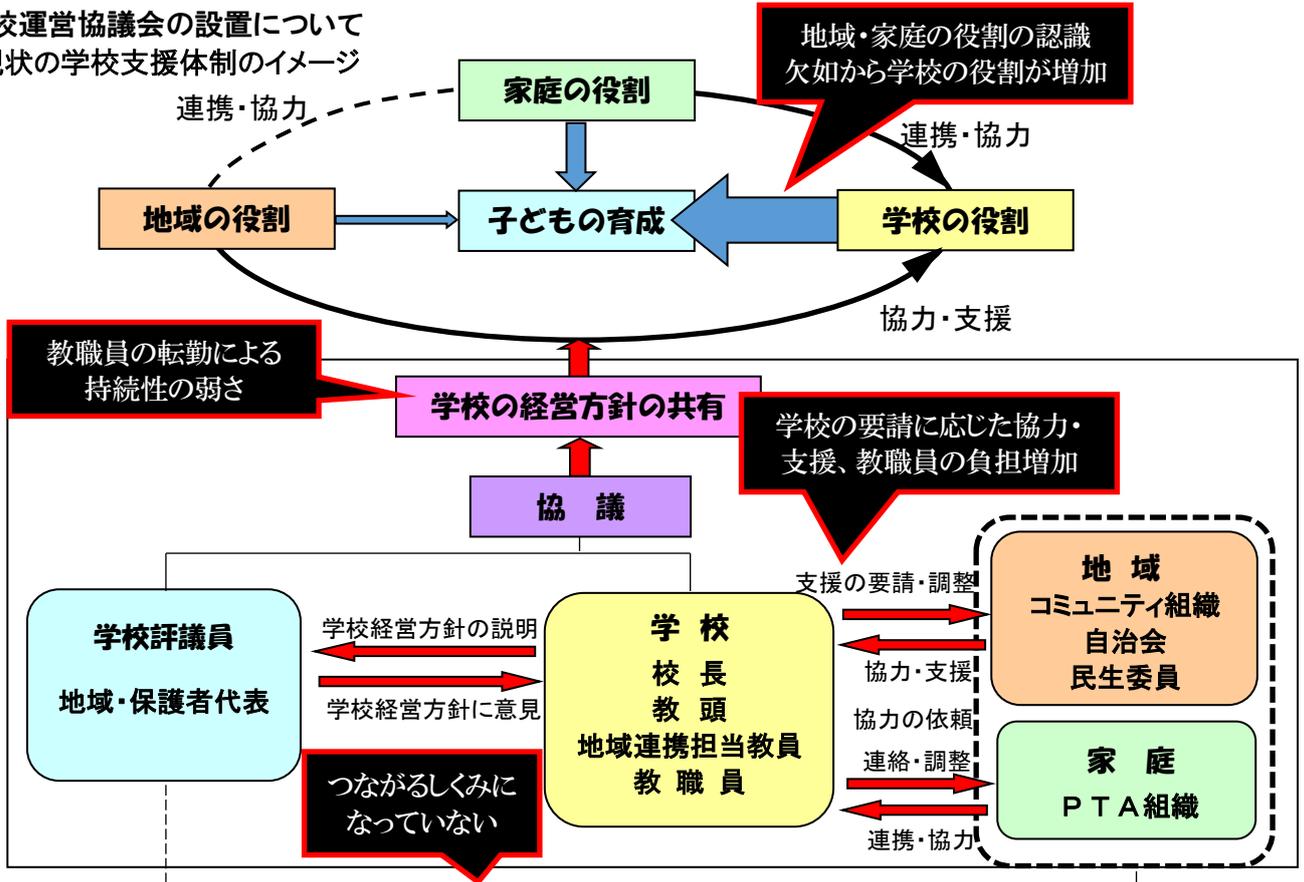
3-2 義務教育学校の特徴について

小学校、中学校の教員という枠組みではなく、一つの教職員組織となりますので、例えば 次のような教育を行うことができるようになります。

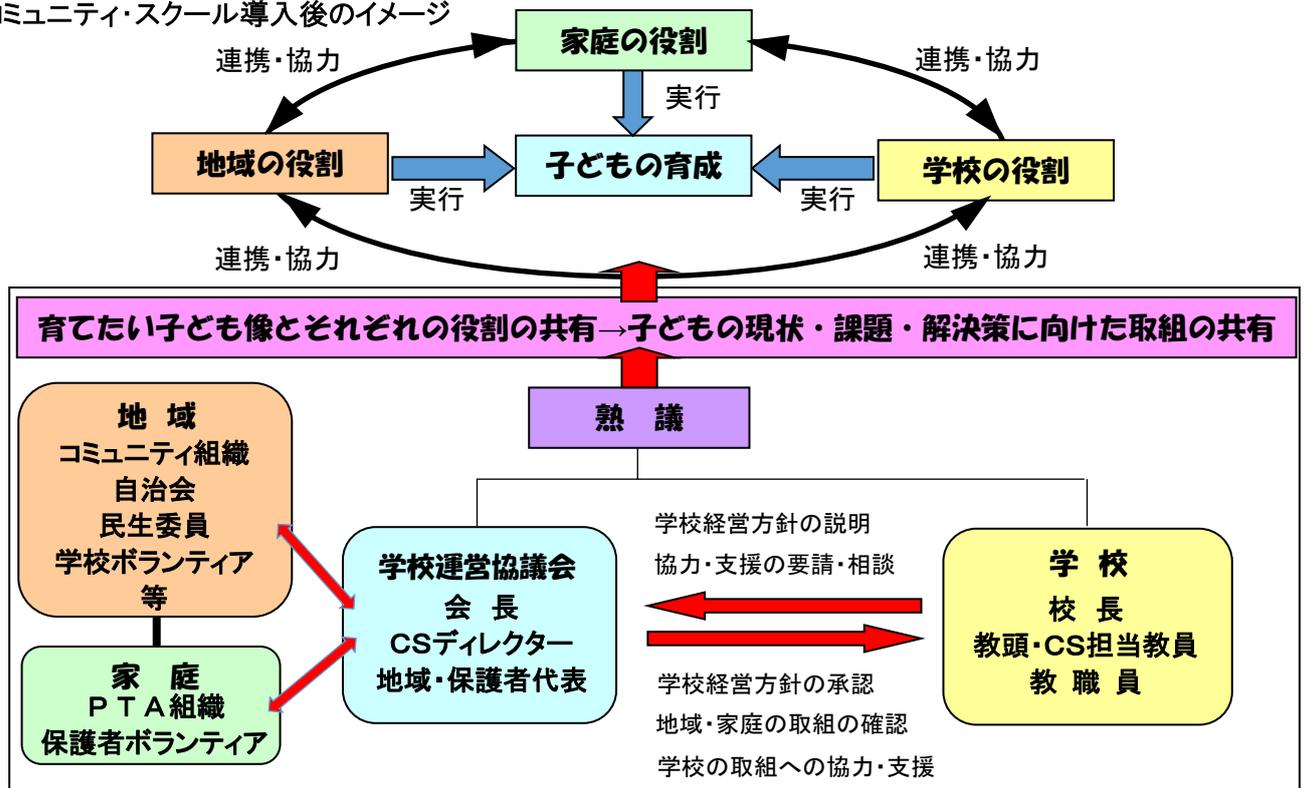
- 子どもの発達に合わせた、切れ目のない支援を行うことができます。
- 義務教育9年間を見通した教育活動を行うことにより、いわゆる中1ギャップが解消されます。
- 思春期に入る中期の子どもたちに合わせた指導体制をつくることができます。
- 小学校と中学校の重複するカリキュラムを整理することで、振り返りの授業を行ったり、発展的な授業を行ったりすることができます。
- 英語や数学などの中学校教諭免許を所有している教員が中期や前期の指導を行うことができます。
- 6年生の担任が7年生の担任として持ち上がることも可能です。

4 学校運営協議会の設置について

(1) 現状の学校支援体制のイメージ



(2) コミュニティ・スクール導入後のイメージ



学校運営協議会の設置、コミュニティ・スクールの導入についてであります

(1) まず、現状の学校支援体制についての課題です。中学校区によって、地域との関係性に違いがありますので、一般的な現状ととらえていただきたいと思います。

子どもの育成に関して、家庭・学校・地域にはそれぞれの役割がありますが、現状ではそれぞれ役割の明確さ・認識の欠如から、従来地域や家庭が担ってきたことが学校にまわされ学校の役割が増加しています。また、学校を支援する仕組みが主体的なものになっていないため、教職員の負担が大きくなっている問題もあります。学校評議員制度により、地域・保護者の代表が学校経営や教育活動について意見を述べる場はあります。また、学校の要請に応じて、地域のボランティアが教育活動を支援もしています。しかし、地域・保護者が主体的に学校の教育活動を支える仕組みとはなっておらず、学校の担当者(教頭・地域連携担当教員)が主体となって会議の企画・運営、ボランティアの調整を行っているため、教職員の負担が大きくなっています。

これらの課題を解決し、「地域と共にある学校づくり」のための仕組みとしてコミュニティ・スクールを導入したいと考えています。

(2) コミュニティ・スクール導入後の理想としているイメージ図です。

学校運営協議会で、学校と地域保護者の代表が熟議を重ね、育てたい子ども像とそれぞれの役割、(家庭が行うこと、地域が行うこと、学校が行うこと)を共有します。その上で、学校と学校運営協議会が自分たちの役割を具体的な活動として主体的に実行していきます。学校運営協議会には会長の他、主体的な活動を行うために事務局を担当するCSディレクターが必要になります。学校の支援要請や相談を受けて、学校運営協議会が調整役となり、地域や家庭に文書を出したり、活動を計画・実行していくことが期待されます。さらには、学校の要請がなくとも、自分たちの役割を自覚し、進んで活動を行っていくようになることが理想であると思います。

全国サミットのレセプションで武蔵村山市の学校運営協議会委員の方と話す機会があり、活動の様子をお聞きしたところ、地域を愛する子どもの育成という目標を学校と共有し、地域クリーン作戦を学校運営協議会が企画し、地域や保護者児童生徒を巻き込んだ活動を行ったとのこと。10年近くの年数が必要だったとのこと。

理想型に近づくためには、地域の人材発掘や研修等が必要ですので、時間はかかると思いますが、何もしなければ、学校の役割が増大し、学校教職員が子どもたちと向き合って教育を行うという本来の役割が損なわれる状況になっていくと危惧されます。

学校運営協議会が機能した具体例

	課題(問題意識)	熟議	取組
学校	自分からあいさつができる子どもたちにしたい。 あいさつ運動の成果を広げたい。	そのためのアイディアを話し合う。 (目標と取組の共有・役割の明確化)	・「あいさつ名人」の取組を開始。5段階のあいさつレベルを設定し、子どもたちと共有。 ・年度末までに全員が「あいさつ名人」に認定される「あいさつ日本一」の学校を目指す
家庭	家庭でのあいさつはよくはない。 登校班であつまってもあいさつをしない。		・家庭でも「あいさつ名人」の認定に協力。 ・PTA総会で家庭でのあいさつ呼びかけ。 ・家庭内でのあいさつの意識向上。
地域	地域でのあいさつはよくはない。 学校ではあいさつ運動をしているようだが。		・地域であいさつのぼりを作成。 ・自治会でも取組を共有。地域へ啓発することで、大人の声かけ意識が向上。

子どもたちのあいさつが劇的によくなる

学校運営協議会でどのような課題について熟議がなされ、解決に向けた具体的な取組の共有が行われるかという例を説明いたします。

あいさつに関わる、学校・家庭・地域の問題意識(願い)を学校運営協議会で共有しました。学校は、自分からあいさつができる子どもにしたい。家庭保護者からは、家ではあいさつはよくない。地域の方々からは、道ですれ違って挨拶する子はあまりいない。熟議を重ね共通の願い思いとして、子どもたちのあいさつをよくしていきたいという目標を立て、そのための取組を表にあるとおり、学校、家庭、地域がそれぞれ考え、実行しました。

その結果 子どもたちのあいさつが劇的によくなったということです。学校運営協議会で熟議を重ねることで、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、主体的に取り組んだことが大きいと思います。従来は、学校が文書等で自治会や見守りボランティアや保護者にあいさつ運動への支援をお願いしていたことが、学校運営協議会を機能させることにより、地域保護者の主体性を引き出し、学校の教職員の負担軽減にもつながりました。



月信3-4号(9-10月号)特別企画

新会員座談会

日時：2017年8月19日(土) 12:00~14:00

熊倉さん 会社からのお金がない限りはムリだろうな、と。しかし会社として、



第2分区分熊倉正志さん

入る必要あるな、と。社会貢献ということ考えた場合、会社としては入るべきだね、と。個人として私が行くか、っていうとまず行けないだろうなと思います。あと、異業種の交流がすごく盛んだったというイメージあって、建築会社が入ってたりすると、うちも入らないといけないな、とか。業種、会社としてという部分では、非常に重要な会だな、という認識はしてました。あと個人的に言うと、週1回の例会くらいだから月に4回ぐらいは、きっちりやろうと思ってたんですけど、実は今年はガバナー年度だということで、ものすごい集まりがいっぱいありまして。これがなかなか、大変ですが、またその分も、いろんなつながりが増えて、これは価値ある活動だなとおもいましたね。

丹治地区幹事 熊倉さんは、新潟万代ロータリークラブですけど、新潟万代って、今約40人しかいないんですよ。そうすると、みんな1人2役、1人3役ぐらいやらないと、ガバナー年度が回っていかないんですよ。ですから、新人だろうが、旧人だろうがみんな借り出されて。一番大変だったのが、熊倉さんじゃないか、と。地区協っていうと、700名近くを集めての会合ですよ。その司会を、とにかく「新人やれ」ってことで抜擢というか、投げられたというか、随分大変だったと思うんですけど、そこらへん、どうでしたか？

熊倉さん 地区協に出たことないわけですよ。どんな会か全然わかんなくて。会場行ったら、ものすごく広い会場で、すごくいい経験させていただきました。あれを越えたら、この1年の仕事終わったな(笑)と。いい経験させてもらいました。

丹治地区幹事 でも、そういうことをやることによって、わかる部分って、ありますよね。ただ例会だけ出てるだけじゃなくてね。長谷川副幹事だって、おんなじようなものでしょ？

長谷川副幹事 はい。私も、皆さんと同じ、新人と変わらないんですけど、丹治地区幹事の鶴の一声で。「あなた、やりなさい」と。ロータリーはNO と言えないと、そこで初めて知りました。

丹治地区幹事 みんな、そんな経験なんですけど。なにかほかに。入る時はこう思っていたんだけど、入ったらイメージ違ったな、ご意見ないですか？木村さんあたり、どうですか？



第4分区分木村 謙さん

木村さん 入る前は、年配の人が多いイメージがあったので、40代なんで、あと10年か20年後でいいのかな、と思ったんですが、僕が入会する時に、同じ年に卒業した青年会議所の同じ歳のメンバー が4、5人入って私も入ったんですが、うちは今48名ですけど、40人ぐらいは60代とか、70代とかなんで、最初の時は、ホント何をしゃべればいいのか、とずっと考えながら懇親会に参加してました。これ、笑い話ですが、この前、こんなことがあったんだよ、っていう、「この前」の期間が、我々だと3年か5年前かな、と思ったんですけど、10年とか15年なんですね。長さが全然違うという(笑)

丹治地区幹事 木村さんのところも、ガバナーを出されているところですけどね。それが10年近く前になりますからね。たぶん、実際入られて、戸惑ったこともあると思うんですよ。「えっ」と思ったこと。ガバナー訪問で回って一番ご高齢の人、90何歳っていらっしゃいました。現役で。例えばそういう方とのギャップって、どうしても出てくると思うんですよ。そこらへんのことで、「えっ」というようなことがあったらこれからの参考にもなるんですけど。市川さん、どうですか？

市川さん 昔は出席率100%が当たり前と言われたんですが、事業主の方はたぶん可能だと思うんですが、私たちのような雇われは例えば昼例会に出るといっても、午後は仕事の時間帯に入ってるわけですよ。出るには仕事の時間に抜けなければいけない。それは本来できないことなんです。ですから、そのところが上手く理解できてないんじゃないか、と思ったことはあります。要するに勤務時間に例会が入ってることになるんですけどね。新津クラブは1カ月のうち1回が昼例会にするってことで、随分出やすくはなったんですけども、そうでないと、なかなか簡単に例会に参加できないところがあります。それが、出て当たり前だ、という考え方と規則上出られない、っていうギャップがどうもよく収まらな、ってところありますね。説明すればわかるんですけど、そういうところまで考えが及ばないような感じがあるんじゃないかな、と感ずることがあります。雇われている立場の場合と、本当に事業主の場合とちょっと状況が違うということですね。

丹治地区幹事 新潟万代は、まだ24年、今年で25年目ですから、比較的若い、歴史の浅いクラブですから、あんまり長老だとか、そういう感覚あんまりないと思うんですけども、50年も60年もある歴史の長いクラブはホントに上の方は80代でカクシャクとしていらっしゃる。若い方は、30歳前後の方もいらっしゃる。相当なギャップと言



いますか、ある面で、若い方はプレッシャーに感じるかもしれないし、年輩の方は「何にもわかってない」ということになって。そこら辺の話も聞いてくるんですけど。

千田副幹事 私のロータリー歴はまだ12年ほどでそんなに長くはないですが、ただ、その当時入った国際ロータリーや当時の日本のロータリークラブと今のロータリークラブを、比べて客観的に言うと、前よりちょっとは柔らかくはなってるんですよ。10年とか20年前の、今いらっしゃる、古い会員の方、25年・30年いる長老の方っていうのは、その当時の

「これがロータリーだ」というのがすごく染み付いているんです。今のロータリーも少しずつ角が取れてきたと思います。例えば前は、必ず行事に出なければいけない。職業を持ってなければ入れない。退職したら、もう辞めなければいけない、などと言われていましたが、今は、退職して辞めても、職がなくても、ロータリアンとしては入会してやっていけるわけですから、そういうのは少しずつ変わってきてます。組織の「こういう風にやりなさい」とかじゃなくて、「各クラブで自由にやってもいいですよ」というのにな変わってきてる。そうすると長老の方との温度差が益々出てくるように思われます。

続きは次号へ

南RC 2017~18年度 秋季ゴルフ大会

9月24日(日)

於： YUTAGAMI COUNTRY CLUB

優勝 永桶 俊一 君 (信濃 44 護摩 53 GROSS 97
HD 26.4 NET 70.6)

準優勝 大溪 秀夫 君 (信濃 45 護摩 48 GROSS 93 HD 19.2 NET 73.8)

第3位 長谷美津明 君 (信濃 50 護摩 46 GROSS 96 HD 21.6 NET 74.4) 大波



Congratulations!



スマイルボックス傑作集

今週の傑作

1996-1997年度

○1996 7/22 第1352回 4回例会 大竹(和)君
2番テーブルの『卓話のエース』徹ちゃんに期待して
います。(本寺小路の夜の生態のオハナシは、いつ聞か
せていただけなのでしょう?)

○1997 6/23 第1393回 45回例会 丸山(徹)君
勝新さんさようなら。三条の勝新より。

○1997 5/19 第1388回 40回例会 西巻君
三条祭り雨で中止になり残念でしたが、私にとっては
初孫(外孫)誕生で記念すべき5月15日でした。
おじいちゃんになりました。